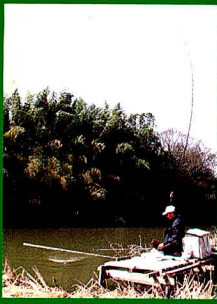


忘れていませんか? 1枚の感動を。 棚網 久、高滝湖&明秋に、春を求めて...

8 乗込みべらに会いに行こう。 PART I

精進湖・河口湖・明見湖(山梨県)、千賀川(千葉県)、着仙田・北浦川・押付新田の上沼・桜川の大形ジャリ穴(茨城県)、相模湖最上流・津久井湖・相模川(神奈川県)



●今月の表紙●

angler: 棚網 久

field: 明秋

photo: 本誌・田中里史

layout: 本誌・田中里史

COLOR (カラー)

- 4 FIELD PHOTO REPOAT
精進湖・赤池周辺(山梨県)
- 6 関宿落とし(千葉県)
- 21 名手・石井旭舟がいく、へら鮒出会い旅... **へらぶな浪漫街道**
《第十七回》春到来の円良田湖。
- 27 **新連載** 戦い続ける男、浅草へら鮒会、年間タイトルへの挑戦。小池忠教 激闘の軌跡
《第2戦》3月例会:横利根川
- 33 生井澤 聡&山中いつ子の佐原水郷の四季
《其の5》粘りに粘った長島新堀の釣り
- 39 **新連載** 頼れるミスターCが一肌脱ぎましょ。棚網 久 あなたの夢を叶えます。
《第2回》三島湖で27尺竿を振り回したい! ゲスト:栗田浩晃さん
- 44 **ダイワ精工(株)「龍聖」モニター試釣会** 羽生吉沼
原始釣人・稲毛利夫&賛助釣人・モロちゃんの純野釣り探求記!
46,146 アタリをちょーだい!!
《Vol.5》地獄沼/古沼/無名の池/花見台第一公園の池/正木沼(埼玉県江南町・嵐山町)
- 118 竹とともに生きる。
《第9回》「患舟」作者 松本恵央
- 121 西日本川釣り紀行 北川穂積
《第17回》大和川(奈良県)
- 125 **新連載** 若き[splasher]、あらゆるフィールドを楽しむ!!
杉山達也の**SPLASH BEAT III**
《Vol.2》漕ぎ出せ丹生湖、一番乗り!!
- 130 田辺哲男の「それってどーゆーことよ!?」
《Vol.17》森崎政典の「Base of Wild」第一弾
- 134 熱血釣り女・吉川ひとみがい! 「へらってヤバイわっ!!」
《第23回》大苦戦!! 谷和原大沼でイチから出直し!
- 138 **好きです! へら鮒釣り!**
《今月の釣り人》書道家・関東へら研 伊藤彰侯さん
- 140 **頑固一徹! 自分の釣りを貫き通す男**
《今月の釣り人》相模湖の大型に魅せられて 村田征司さん
- 142 列島縦断 旅するカメラ
《群馬県PART IIの⑥》富岡市周辺 八幡宮下の池ほか
- 177 **新連載** 名手帰還。野釣りファン、お待たせ!!
戸張誠 **野釣り道場**
《第2回》【佐原向地、中通しの釣り】 霞ヶ浦余郷干拓地前 新利根川
- 183 岡田 清 Deep Side Angle
《Vol.8》【ポールポジション】 谷養魚場へら池
- 188 FIELD PHOTO REPOAT
谷中湖・池内水路(栃木県)
- 190 釣りクラブ見参!
筑桜へら鮒会(筑波白水湖)
- 192 **フィッシングレディ**
《今月のレディ》松倉摩里子さん 清遊湖(千葉県)

MONOCHROME (モノクロ)

- 50 今月の要チェックフィールド 編集部
- ★エリアルレポート
- 52 白石干拓池&新堀群(佐賀県) 河口正伸
- 54 河北潟(石川県) 山本一朗
- 55 大和川(奈良県) 前田誠志
- 56 前ヶ平大池(愛知県) 後藤 誠
- 58 あらしいのぶの始めてみようよ、へら鮒釣り
《第13回》へらバッグを見に行っちゃいました♡
- 62 トーナメントー小林恭之が挑む! 竿頭までぶっ飛ばせ!!
《第5回》日曜日の椎の木湖に挑む。
- 66 NHCスピリット
《Vol.8》'03年NHC全国大会第二位・太田武敏 in 羽生吉沼
- 73 江成公隆のトーナメントー、復活への道。
《Vol.23》カットビ釣り行記(!?) in 弁天F.C月例会 前編
- 82 そんなモジリにダマされて... 天野正由
《その5》うれし楽しい春が来た(?) 相模川・猿ヶ島〜宮沢湖
- 88 水辺のプラネタリウム 吉本亜土
《今月の星空》「苦行」
- 93 元気になるへら鮒 西田高明
《第17回》「三寒四温」を乗り越えて
- 98 最狂へら戦士養成所“鮒の穴” 高橋謙司
《第十七話》今月の指令:春だ! 乗込みSP
「タカハシよ、45cmオーバーを釣り上げろ!」PART I
- 102 野田幸手園新聞
- 104 ワクワク管理釣り場情報
- 108 小売店情報
- 145 フィッシングショー OSAKA2004
- 150 竹竿&合成竿で未開の釣り場を楽しむ! オデコバンザイ!?
《その5》梶の宮池(茨城県新治村)
- 154 投稿 へら鮒釣りから会得できたこと 武藤駄竿さん
《第1章》浮間漁場ノスタルジー
- 156 平成15年度 相模湖大型表彰式
- ★へら鮒BOX
- 159 里ちゃんの新米編集長雑記
- 160 情報発信基地
- 162 ボイス
- 168 コラム『夢中と書いて夢の中』伝道師P
- 169 **新コラム** 『日研だより』日研広報部長・遠藤克巳
- 170 **新コラム** 『へら狂おやじと呼ばないで』白石和弘
- 172 釣果予想クイズ
- 174 プレゼント発表
- 175 広告索引
- 176 編集後記

STAFF

●Producer

根本良一

●Editor in chief

田中里史

●Editor

大場勝良

諸富一秋

根本百合子

伊藤小百合

●Planner

<オフィス・えぶ>

藤原 肇

この物語は、
栄光、そして挫折を味わい、
今、再び這い上がろうとする一人の男の人間ドラマである。

江成公隆の

トーナメント、 復活への道。

text and photo by Kimitaka Enari and Satoshi Tanaka
業界初、Web運動企画！ (URL) <http://hesar.yokohamatsurumi.net>

「一歩前へ！」

〈Vol.23〉

カットビ釣行記!?

in 弁天F.C月例会大会

前編

ナメられ編集長・里ちんの“振り回され”日記

3月7日(日)

弁天FCの月例会に便乗した江成は、参加者約50名中15位という結果に終わった。かなりのハイレベルで知られる同池月例会大会ではあるが、江成の過去の実績をふまえれば「ビミョー」な順位である。かつては箱釣り専門の名門「ゴールドクラブ」に在籍し、毎年三役に名を列ねていた江成。弁天は得意中の得意ではなかったか？ しかも勝負は江成が大好きなカツケウドンセットであった。江成には「コケてもらってナンボ」とは思っていたものの、今回は内心期待していたのだ…。

釣りのあとのファミレス。「カットビ君」こと西澤良純氏と盛り上がっていた江成は、帰り際にこう言った。

「今日の敗因は分かった！ 原稿も出来たも同然！」

…ホンマかいな!?

3月22日(月)

締めきりの約束の日を鬼のように過ぎて、江成からの原稿は届かない。電話も繋がらない…。

「アニキい！ 里ちん、胃が飛び出ちゃいますぜ〜!!」

3月22日(火)

出社してマックを立ち上げると、江成からのメールが届いていた。なにになに？

「4月は取材の時間は取れそうもありません」…だとお!?

んな事より原稿はどうしたんじゃい、原稿はァ！ …おっと、添付ファイルがあったのね。失礼失礼。ダブルクリックして開いてっと。

「…こ、これは！」

トーナメント参戦編にはふさわしくない(?) 濃ゆい原稿に、里ちんは困惑気味…。アニキい〜、ゲストが多い今月は、写真も多いんですよ。そういう事分かってます？ ボリュームを考えて下さいよっ！ (…ま、次号の取材は出来ないというし、前・後編で分ければ穴をあけずに済むか…)

というわけで、毎月取材するはずだった「トーナメント参戦編」は、僅か第三回目となる次号で早くも挫折決定！

しかも江成は弁天以降、全く釣りに行けておらず、次回の釣行は4月29日になる予定。

なんとそれは「バリバスカップ関東予選」。

いきなり本番…。試釣に行くとか行けないとかいう次元ではない。釣りに行けないのだ。

「マジ!? いくらなんでもそんなヤツイねーって！」 by 里ちん



【西澤良純】

本誌「へら鮒」にて、1989年1月号～1990年8月号まで20回にわたって「カットビ釣行記」を執筆連載。なんと当時はまだ高校生だった。10代の若手が連載を持つなど考えられなかった時代の事である。突破口を開いたのは「へら専科」で華々しくデビューした扇居祐輔氏と思われがちだが、元祖は実は西澤氏であった。進学や就職など、釣りとの距離が遠ざかった時期もあったが、現在ではトップトーナメントの一人としてシーンに君臨している。ちなみに新婚♡現在でも氏を「カットビ君」と呼ぶのは、江成・本多氏・岡田清氏・萩野孝之氏（一志作者）の4人だけだそうである。現在33歳。

○主な戦歴

1999～2000タイフ関東へら釣り選手権（現在はダイフスーパーバルクアップへ移行）連覇

2001～2003マルキュークラブ対抗選手権に「きもと真鮒会」として三年連続全国大会出場

○江成とのかかわり

釣りへの情熱がやや薄れかけていた20歳前後、ちょうどその頃トーナメントシーンに躍り出た江成、大竹氏らの釣りを見て衝撃を受ける。「ナジませる超・短バリスセティング」とその理論に酔い、当時江成らが使っていた「本多作」も揃え、今も愛用する。

同じ釣りでは勝てないと試行錯誤していた氏は、シーンから江成や大竹氏が消えていった90年代後半、短バリスセティングを生かした独自の浅ナジミの落ち込みセット理論を完成、爆発する。浅ナジミのセットといえば、小林恭之氏の「イーグル釣法」があまりにも有名だが、トーナメントで結果を出したのは西澤氏が先だった。

▶3月7日、弁天フィッシングセンター月例大会。右から、江成、本多俊行氏、佐藤 誠氏（先月号で結成を発表したチーム「自作自演」）、「カットビ君」こと西澤良純氏、そして、この池を根城にする若きトーナメント河村大輔君。（ちなみに江成の左隣は里ちゃんの釣り座です♡）



弁天は以前よく行った釣り場で、色々な思い出がある。しかし会心の釣りというところ多くはない。

僕がこの池ではじめて「優勝」したのは一昨年のこと。現在も僕が所属する唯一のクラブでの出来事だった。その日は久しぶりのカツツケにも関わらず、面白いように釣れた。岡田 清ばりの「オーバー200の世界」で60kgを超える釣果でぶっちぎった。しかし僕は特に変わった事をしていただけではないし、並びの仲間と技量に大差があるとは思えなかった。では何が違ったのか？ 実はびっしり隙間なく並んだ例会だったが、僕の右だけ2席空いていたのだ。「同じ釣りでも並んだら釣れなくなる」とは一般的によく言われるが、この弁天ではその傾向が顕著だと思う。しかしこれは勝者が敗者を気づかって言うべきセリフであって、敗者がそれだけで済ませていたら進歩がない。

今年の正月例会は弁天で行われた。僕も参加し、納竿間際に頭痛で倒れるまでは並びとは大差ない釣果だった。が、やはりこの日も並びの端の方だけは釣れていた。しかし自分の一日の釣りを振り返ってみれば、途中で訳が分からなくなっていたにも関わらず、思考を放棄してしまっていたのだ。

実は「並びと差がないからよし」で済ませてはならない大問題があったのだ。それは、今回の月例会で思い知らされる事になる。釣りながら僕は、目の前に展開されているウキの動きが正月例会の時と全く同じだという事に気が付いた。同じ過ちを犯していることは明白だったが、何が悪いのかさっぱり分からない。決定的な理解の欠如の可能性に気付いてしまった。

そんな僕の釣りを一日中気にしながら釣ってくれていたありがたい友人がいた。久々に会った「カットビ君」こと西澤良純氏である。

今回の原稿は急遽、彼を講師に迎えてのレクチャー編に変更する事にする。とても自分の実釣編なんて書けないほど、唸っちゃったのだ。 by 江成

帰ってきた「カットビ釣行記」。

カ：江成君に会うのは何年ぶりかなあ？

江：うーん、どのくらい会ってないかなあ…。たまにメールで話してるからあんまり感じないんだけどね。でもすごい久しぶりなのは確かだ（笑）。

カ：（笑）。それにしても今日はシビシだね。あんなに涼しくなるとは思わなかった。江成君にダンゴでも釣れるなんてメールしちゃったのにな（笑）。やっぱり並んじやうとダメなんだなあ…。

江：そうは言ってもカットビ君の方が釣ってるんだからさ。やっぱり何かある善なんだよ。俺よりコンスタントに絞ってたしね。ウキの動きも俺より一定してた。

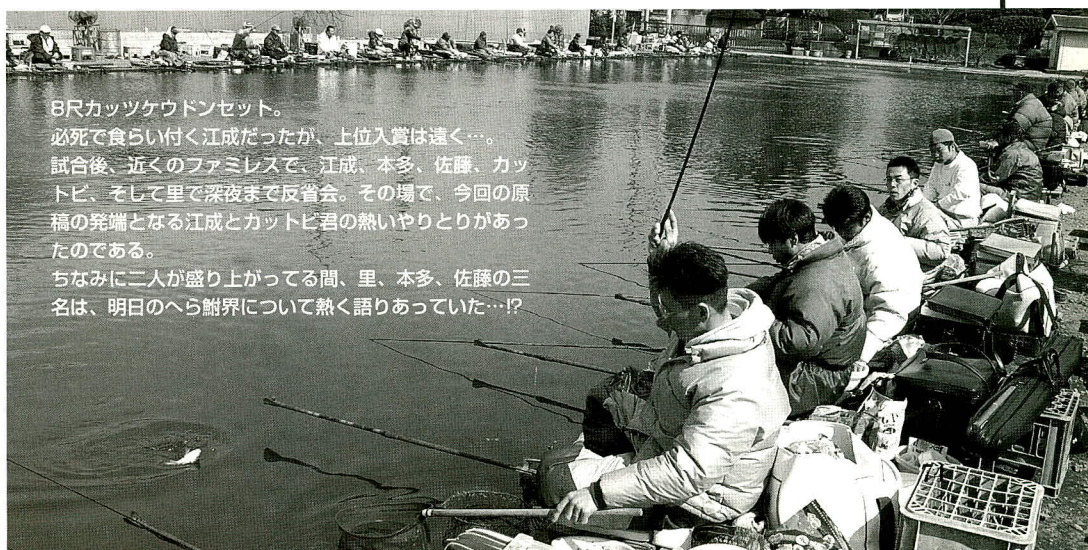
カ：うーん…。江成君の釣りを見てただけだとバラケをしょっちゅう落つことしてたでしょ（笑）。江：そうなんだよ（笑）。たまにしか釣りやらないから、アマイエサを打てないんだよね。

カ：エサが水面に落ちる瞬間を見てたけど、あれだけアマけりや誰だって落とすって…。いやだから、そういう問題じゃなくって、そんなにアマイバラケを打つちやうってよかったのかな？ってこと。江：うーん…。痛いトコ突いてくるねえ。実はね、俺も悩んじやうってたんだよ。ダンゴでも釣れるなんて聞いてたからさ、バラケが持ち過ぎてればアタってきやうじやない？ エサが二種類あると釣りがややこしくなるからさ。どっち食ってもいいなんて考えてたらきちんとエサ合わせ出来ない事になるわけだし。早いアタリはダンゴで、ナジミでからのクワセなんてさ。そうじゃなくって

早いアタリをクワセに出させたいよね。カ：でもそれをイメージしすぎてアマイバラケではかえってアタリが遅かったでしょ？

江：そうそう。ウケは出るんだけど、アタリに繋がらないんだよね。だからウケっていうよりイトスレっていう感じだったのかなあ。寄せ過ぎて。というより、ハシヤがせ過ぎか。そう思ってたよ。と押さえたバラケを打つてみたんだよ。でも…。

カ：でも？



8Rカツツケウドンセット。

必死で食らい付く江成だったが、上位入賞は遠く…。試合後、近くファミレスで、江成、本多、佐藤、カットビ、そして里で深夜まで反省会。その場で、今回の原稿の発端となる江成とカットビ君の熱いやりとりがあったのである。

ちなみに二人が盛り上がる間、里、本多、佐藤の三名は、明日のへら鮒界について熱く語りあっていた…？



▲クリップ止めワンタッチ竿置き。「ハコ出身の江成らしい小物。分かる人には分かるツウな一品。いったい何年ものですか？」

カッター釣「トビエーザ」。

江：今度は、スーツと入っていつちやうんだよね。全然釣れる気がしなかったんだよ。この時点で今日はダンゴじゃ厳しいことは分かったよ(笑)。だって芯を作っても反応が悪いんだからね。ピンポンにならないんだから。もっともアマイバラケなんで元々重めの素材が多かったせいで追えないのかも知れないけど…。

カ：なるほど、なんとなく見えてきたよ！ 今日、江成君がハマった迷路が。

江：マジ？ 教えて教えて！

カ：その前にもうちよつと江成君のセット釣りのイメージっていうのを聞いておきたいな。そうしないと確信が持てないから。

江：セットのイメージ？ そうだなあ。一言で言うところのセットは「漂い系」って感じかな。何が漂っているかと言えば、バラケの粒子もへらも両方だね。バラケの拡散範囲とへらの位置関係(距離感)っていうのが、昔と比べて曖昧になってきているというイメージかな。凄く食い渋りで食うへらはうんと遠巻きにいるようなケースでは、当然下ハリスは長くなってくる。でも、イトズレでうんざりするくらいバラケに近い所に食わないへらがたくさんいるような。さすがに俺もむやみにハリスを詰めるのをためらうようになったね。昔はさ、バラケに一番近い所にいるへらを相手にするだけでも十分釣れたんだよ。で、「ダンゴで弱いサワリしか出ない」バラケの芯にアタれる程の活性はないけど粒子には反応している」っていうのがセット釣りを選択する条件だと考えたの。もちろん厳寒期ではダンゴにアタリっこないんだから、当然セットだと。半端な時期にはセットは選択しなかったね。同じ難しいなら、エサが一種類の釣りを選んだんだ。

カ：そうそう。だからバラケにアタるカラツンというのは江成君達にとってイレギュラーでしかなかった訳だよな。じゃなきゃあんなにガツチリしたバラケ打てなかったよね(笑)。ぶったまげたも

ん。セットのカラツンの原因はバラケにアタっているのがほとんどだって誰も疑わなかった時代に、あんなにどつぶりナジミのバラケでよくアタリを待てると思ったもの。アタる筈がないっていう確信があつたればこそ、だったよね(笑)。

江：うん。でも待ってなかったよ。いい時は「ナジミですぐにドン！」だよ。バラケがガツチリおつりで付いてくるようなタイミング(笑)。で、100パーセントに近い確率で下バリを食ってくるという。はっきり言って距離さえ合わせられれば簡単だったよね。バラケの拡散範囲の調節は「寄せ」のコントロールでしかなかった。だから拡散範囲の増減に合わせて下ハリスを動かせば良かったんだよね。もちろん距離自体も一日の内でも変わるわけだからね。

カ：いやあ懐かしいね〜！ 当時を思い出すよ。でも今もそれは基本だよな。やっぱりそのところの理解がないとダメだよ。

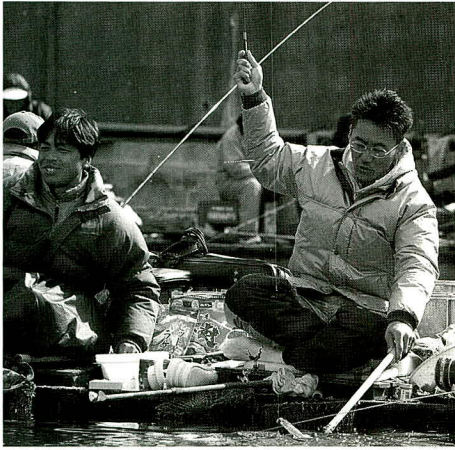
江：ありがと。問題は今のセットだよな。岡田君にも教わったんだけど、あんまり練習出来てないんだよ(笑)。だから頭の中のイメージでしかないと言っている状態。

で、やっぱりへらがセット慣れしているっていう気がするよね。クワセをぶらさげておいてもカラも遠いもの。そこで「落下中」という要素が絡んでくるわけだ。連載当初に岡田君をゲストに呼んだ時、回形物の自然度を上げるための理由として書いたけど、ヒゲだつてそうなんだよね。自然なナジミ込みにはある程度のハリスの長さも必要になってくる。これが今のセットを難しくしている原因だと思うね。拡散範囲に合わせる前に最低限のハリスの長さが決まってくる訳だから、今度はハリスの長さにバラケを合わせなくちゃなんないんだ。ガツチリ&最短派だった俺から見れば、どんな人のバラケを見たってアマアマに見えるわけだよな。

カ：だよな(笑)。でも当時の江成君だってアマイバラケを打った事が全くないわけではないでしょ？

江：うん。カッツケなんかはよく浅いナジミで釣ったし、暖季のセットなんかはバラケの芯にアタ





るのをセーブするのにアマメにしたよね。岡田君の言葉で言えば「ちよいと遠巻き」状態を作ってるわけだ。とは言っても今ほど暖季のセットを積む時はトロンコンの方が多かったかな。用意していない時だけヒゲのセットで。ウドンはほとんど考えてなかったね。暖季の固形物はあり得ないと思ってたよ。

カ：カッテではアマメを打ったということだけど、渋い時でもそうだったの？

江：いや、渋い時は持たせる事もあったよ、やっぱり。だけどセットからタンゴへの切り替わりの時期なんかでは抜いたよね、バラケへの反応を嫌って。その逆もそう。それに、いるタナで釣ることが出来るから、追わせる必要がないでしょ。エレベーター出来るしね。

カ：うーん。江成君、カッテでのイメージは今そのままで感じかな？

江：まあそうだねえ。追わせる必要がないって言ったのはタナを作るためという話であって、やっぱり昔よりは下ハリスは長いけどね。「落下中」

というタイミングの今のセットでの重要性に、タナの違いはないと思うから。ダメ？

カ：いいと思うよ。でもそこに盲点があるかも。いるタナで釣るって言うけど、下ハリスが長い設定では果たして本当にへらがいる位置をクワセがトレス出来ているのかっていう問題があるよね。アマイバラケで水面直下にへらを寄せた場合、ウキの位置をハリスカッテの位置まで浅くしたとしても、下手すると下ハリスはへらの位置より下になってたりして。ならば「追わせる・タナを作らない」という要素はカッテでも考えなくてはならないんじゃないか、と。「タナ規定なしの落とし穴」だね。

江：ガーン！ ソレ、あり得るな！ うん、そうだよ。だからアマ過ぎちゃダメなんだな。ウケさせようとしてついついポカしちゃうんだ。でも待つて？ さっきも言ったけど、締め気味のバラケも一回試してるんだよ。あんまりよくなかったんだけどなあ。カッテ君のは軽いバラケだった？

カ：そうだね。そんなに重くはなかったよ。軽いからこそシメでも追わせられるんだね。でももっと大事な事がある気がするな。江成君の話聞いてると、追わせるっていう要素を軽視していたよ。だから、きつと上ハリスの長さなんてあまり調整しなかったでしょ？(笑)

江：そうだね。落下中でも距離と拡散範囲の関係を一定に保とうと思えば上ハリスは出来るだけ短い方がいい。締まったエサを打つしかないようなら、若干伸ばすことで追いをフォロー出来るかも知れないけど、今日はタナ規定があるわけじゃなかったからなあ。ほとんど考えなかったよ。

カ：それは分かるよ。江成君達の短ハリスは、落ち込みのセットが広く研究されていく中での重要なキモになったのは間違いないんだから。僕たちベースはそこ。ただ僕は、どうしたらもっと落ち込みでのセットを決められるかって考えた時に、ほぼ固定と信じて疑わなかった上ハリスの長さをいじる方向を見出したわけ。でも心配しないで。何も10cmも20cmも伸ばす訳じゃないんだから(笑)、そんなにセットの図式が崩れるわけじゃないと思

うよ。ちなみに今日は8cm前後が良かったかな。江：俺は3cm固定だったんだよね。

カ：3cm？ …やっぱり原因はソコかな。今、江成君は締まったエサを打つしかないようならやるって言ったけど、今日がそうだったんじゃないのかなあ？

江：タナ規定がないという条件の中であって追わせるっていう要素が重要だったってこと？ 上で散らして過ぎないように…。

カ：そう。でも江成君的には下ハリスは普段より長かったわけだし、ガッチリぶらさげて釣ろうとしてたわけじゃないでしょ。ウケを意識してバラケを調整してたわけだね。

江：そうそう。動くくせにアタる位置がバラバラなんで、ちょっとハシャギ過ぎかなとは感じてたんだけど、気持ち抑えただけでシーンとしちゃうんだよ。ポカしちゃってるわけだから、たった一投では修正出来ないかもしれないししばらく打ったんだよ。でもダメだった。で、またアマくするって感じ。そのかわりどんどん重いエサを足していったね。

カ：なるほど悪循環(笑)。ハシャギ過ぎを抑えるためにエサをシメる。で、追えない、と。江成君、タンゴでやってへらが追えないと感じたら、エサをいじる前にハリスを伸ばすタイプでしょ？ エサよりセティングで釣りたいタイプだもんね。そんな江成君なのになんで、そこで上ハリスを伸ばせなかったの？

江：あっ…！ 全くノーマークだったよ。セットの図式にこだわり過ぎてた…。

カ：実際に今日の水中はどうだったか分からないよ。江成君の言うように今日は「いるタナ」でへらを釣ってたのかも知れない。でもシメたら反応が悪くなってしまったと。「寄せ」の問題であって追える追えないという次元ではなかったかもしれない。いずれにしても、「使いたいバラケのタッチに応じて上ハリスの長さを変える」という発想がなかったんだねってこと。

江：うーん、その言い回しってものすごく新鮮だよ。「追えないから伸ばす」というセオリーは普通、当然エサは変わらない前提で語られる話だよ

ね。でもエサを換えて追えなくなるか、もしくは反応が悪くなるのをフォローするために伸ばすっていうのは、聞いてみれば当たり前なんだけど、意外に気付かない盲点かもしれない。フッククション入っちゃうだけでも応用が効かないんだ…。

カ：普通はさ、エサを換えて反応が悪くなったら元に戻っちゃうよね。だってそれまでの方が動いていたんだから。でもその動きが気に入らないから戻ったんだから、換えたエサに自信を持ってはもう一歩踏み込める可能性もあるよって話。

江：うーん、やられたよ。今まででも同一条件下でのエサのタッチとハリスの関係においては、こう言われてたよね。

●アマイエサと短ハリスと締まったエサと長ハリス
なのに、セットのバラケになると応用が効かないなんて笑っちゃうよね。セットでの上ハリスへの固定観念が強過ぎたよ…。あ、でもセットでもこんなセオリーがあったな。

●短い上ハリスには大段差と長い上ハリスには小段差
へらの状態とバラケによって段差は変わるわけだから、俺は何とも言えないなあって感じてたんだけど、へらに追わせる対象がバラケとクワセのどちらがメインなのかっていう話なら分かる気がするな。

カ：確かに。このセオリーには前提となるバラケのタッチが書かれていないので難しいね。もし同じバラケを使うっていう前提だとしたら、ナジミ込みの際のバラケ具合がまるで違ってくるからビミョーな感じだね。でも例えばそんなにナジミ込みでイタズラするへらがいないとして、バラケもかなりのしつかり目だとする。どちらのセティングでも同じバラケを使った場合、ナジミ切るまでの変化は大差ないかもしれない。5cmと1mとかじゃ違うだろうけど(笑)。で、上が短くて追えない分、クワセをゆっくり落とす必要があり、クワセでアピールする必要もない。そんな感じっ。

江：やっぱ、そういう解釈しか出来ないよねえ。これにそれぞれのバラケのタッチを組み合わせれ

釣番付

料金表

50名まで	55,000円
51名～75名	60,000円
76名～100名	65,000円
101名～125名	70,000円
126名～150名	75,000円
151名～175名	80,000円
176名～200名	85,000円

- ・仕上がりは黒一色です
- ・人数は成績表部分のみ数えます

書体見本

1. ぐりへの釣会
2. ぐりへの釣会
3. ぐりへら釣会

- ・番付をインターネットで公開できます(無料)

お問い合わせご注文はお早めに!

取扱店: 柴舟 03-3613-2727

ウキや小物の銘入れに 転写シール

初回注文黒一色、300銘で8,500円～
2回目以降同じものをご注文の場合は3,500円～

- ・8書体、8色を御用意しています
- ・角印も作れます

取扱店:

柴舟 (東京都江戸川区)
03-3613-2727

佐伯釣具店 (神奈川県川崎市)
044-911-3722

SANSUI川づり館 (東京都渋谷区)
03-3499-5025

フィッシング中原 (神奈川県川崎市)
044-711-8266

鮒仙人 (神奈川県川崎市)
044-287-7470

お問い合わせ、ご注文は各取扱店
または下記HPまでどうぞ

office27
あとりえぐり

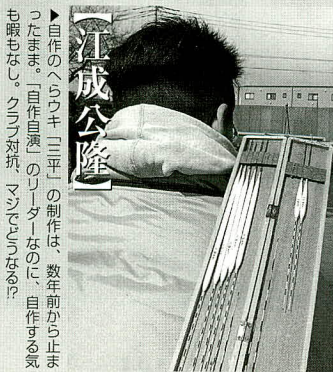
http://www.office27.com
E-mail: info@office27.com

「以下、次号に続く!」

ば、カット君の今日の釣りに近付くわけだけだ。さ。そういえば以前、岡田君に季節の変わり目なんかで「へらがバラケに近い所にいる場合はどうしてる?」って聞いたんだよ。俺が「下ハリスを詰めて近付けるの?」って言ったら、「今のセツトはそうそう詰めちゃダメですよ。段差を縮めるなら、逆に上を伸ばして下さい。上が伸びる事で、バラケを追いやすくなります。といっても、これはもちろんバラケを食わせるためじゃないんです。バラケのタッチもダンゴタッチで粒子を拡散させないようにする事で、タナの安定に繋がります。このときのクワセは粒子の一部というよりも、疑似・芯です。バラケへの反応が強過ぎる場合は、圧を緩めて対処して下さい」って言った。俺はすっかり忘れてて、逆にハナッから抜けさせちゃったんだよ。バラケへの反応がカラにつながらのが怖くて。でもそこまでの反応がないのは途中で気付いたのになあ…。

結局、バラケは粒子を水中に提供するためだけに使って、クワセだけでウケを出させようとしてたんだよ。中途半端に活性が上がった時期にこれはマズかったと思うよ。ハシヤギ過ぎちゃったね。俺のウキの動きはやっぱりウケでもなんでもなくて、イトズレだったな。伊藤さんのダンゴの時と全く同じミスをしていたよ(笑)。っていうか、全く同じメカニズムなんじゃないか! みんな繋がってるんだよなあ…。

チーム【自作自演】始動!



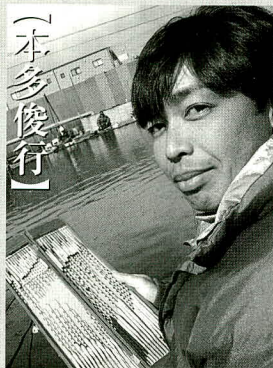
自作のへらウキ(三豆上)の制作は、数年前から止まっていた。自作自演のリーダーなのに、自作する気も戦もなし。ウキ對抗マシンでこのなる?



この日、弁天F.Cに集った三人。江成公隆、本多俊行、佐藤誠…。そう。実はこの日は、先月号で告知したチーム「自作自演」の第一回懇親会(?)も兼ねていたのだ。言うまでもないが、「自作自演」とは、自らウキを作り、トーナメントとしても戦うという意味が込められている。これも先月号で江成によって触れられていたことだが、「鮒の穴」ばりに黨員を増やしていく計画もあるという。まったく江成は何を考えてんだか…。本多さん、佐藤さん、抜けるなら今のうちですぞ!

当面の彼らの目的は、あのマルキュークラブ対抗選手権に出場し、上位を狙うことにある。本人達(ほとんど江成)は、「全国大会に出場して、フォーラム快、チームパラマックス、きもと真鮒会と優勝を争う!」と豪語している。現実はその甘くないと見るが…。しかし、三人とも過去にクラブ対抗の決勝進出経験を持つだけに、あながち夢物語とは言えないところがまた恐ろしい。江成が他の二人の力を借りて一気にメジャーシーンへの復帰を目論んでいるという黒い野望の香りもプンプン。

仕事が忙しくてウキがまったく作れていない江成。この日、さっそく歯抜け状態の浅ダナ用ウキを二人に注文していた。当然、自分で作れるようになるまでのレンタルなのだ。それにしゅあ、ずいぶん細かい注文を出していたような気も…。まさかそのままずーっと二人のウキを使い続ける腹づもりじゃ…?(図星?)。だいたい、「本多作」に「まこと」でしょ? なんちゅう贅沢な! 江成の暴走がいきすぎぬよう、里はガッチリ監視していく予定。また、「自作自演」の活動状況も、このページで逐一チェックしていくつもりだ。御期待アレ! by 里ちん



御存知、「本多作」作者、あの岡田清との強固なパートナーシップは、あまりにも有名。恐るべき実績を誇る。最近のお気に入り「メカニク」(H)。



見よ、このイケメン! このマクで、いったい何人の娘達を泣かしてきたことか。この裏やさは尋常ではない(涙らなければ)。へらウキ「まこと」作者。

へら鮒釣りの楽しさを追究し続ける…

へら鮒

Monthly fishing magazine herabuna

No.461
2004 May

5

乗込みべらに会いに行こう。

春、乗込み。それは、野べらとの再会の季節。
棚網久は、待ちきれずに野に出た。
高瀬湖&明秋。美しい自然の中で、珠玉の一枚を求めて…



本領発揮の「グル魂」ブレンド!

マルキュー最強のグルテンエサ「グル魂」。

強靱なグルテン繊維を、大量に配合した新製品です。

繊維の強さは、他のグルテンエサと混ぜることで本領を発揮。

それぞれのグルテンエサを、さらに持つように仕上げることができます。

ここでは、いくつかの効果的なブレンドパターンを紹介していきます。



**ブレンドで真価を発揮する、
強靱な繊維のグルテンエサ!**

マルキューのグルテンエサの中で、繊維の配合量が最大の「グル魂」。しかも、配合されているグルテン繊維は、長く、太く、強いタイプ。お好みのグルテンにブレンドして使えば、抜群のハリ持ちを実感できるはず。「もっとグルテンを持たせたい」という方に、おすすめです。

●グル魂
(スライダーチャック袋)
オープン価格

8~12尺までの両グルテンの底釣りに

乗っ込みの気配の浅場の底釣りや、よく使われる「グルテン四季」。食い渋りの状況や、軟らかめのエサがいいとき、おもしろいのは「グル魂」ブレンド。軟らかいエサもしっかりと持たせられます。



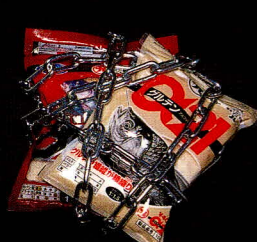
15~21尺までの両グルテンの底釣りに

深場の底釣り狙いには、「いもグルテン」とのブレンドが効果的。ウワズリを抑えながら、タナまでしっかり持つエサがつくれます。また、このブレンドは、流れのある川にも有効です。



バラケにグルテンのくわせに

バラケにグルテンのセットのくわせとして定番の「グルテンα21」。さらに深いタナを攻めるときや、軟らかくして持たせたいようなときには「グル魂」ブレンドが効果的です。



両グルテンの宙釣りに

両グルテンの宙釣りといえば「新べらグルテン」。タナが深かったり、魚が寄ってエサが持たなくなってきたら「グル魂」の出番。吸い込みやすい状態のまま、しっかりとハリに残ります。



野釣りや、両グルテンの宙に

野釣りでの乗っ込みの大型狙いには、やはりマッシュが有効。そこで、「1:1粉末マッシュ」に「グル魂」をブレンド。サラッとかきまぜるだけで、バラけて芯残りするエサが、簡単につくれるようになります。両グルテンの宙釣りにも効果的なブレンドです。



単品で、セットのくわせや、底釣りに

長竿で深ダナを狙うときや、待ち釣りに効果的。「グル魂」ならでは、強い繊維が活きる単品使用。釣況やお好みに応じて、水量調整をしてください。



つれるエサづくり一筋
丸マルキュー
<http://www.marukyu.com/>

本社 桶川工場 埼玉県桶川市赤郷 2-4 〒363-8509
TEL: (048) 728-0909(代) FAX: (048) 728-3909
大阪支店 大阪府寝屋川市楠根南町12-14 〒572-0811
TEL: (072) 824-0909(代) FAX: (072) 825-0909

四国営業所 香川県坂出市西大浜北3-4-33 〒762-0053
TEL: (0877) 44-0909(代) FAX: (0877) 44-3909
九州営業所 佐賀県鳥栖市姫方町341-8 〒841-0023
TEL: (0942) 82-0909(代) FAX: (0942) 83-0909

釣り場でエサに困ったら
iモード・ホームページ
<http://www.marukyu.com/i>

